

ファミサポ通信

すくすくキッズ！

令和4年8月

No.38



日頃は、可児市ファミリー・サポート・センターにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年1月末から2月にかけて、新型コロナウイルス感染症急拡大による市感染症対策の方針をうけ、活動自粛をせざるを得ない状況となりました。活動の予定が入っていた会員の皆さまには急な対応を迫ることになりましたが、ご協力いただきありがとうございました。

現在もコロナ禍が続いております。活動における感染のリスクはお互いにあります。対策を講じながら、活動をしていただければ幸いです。

今後とも、地域の中での助け合い活動ファミサポにご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度活動件数

令和3年度の活動総件数は、447件となりました。

主な依頼内容として、

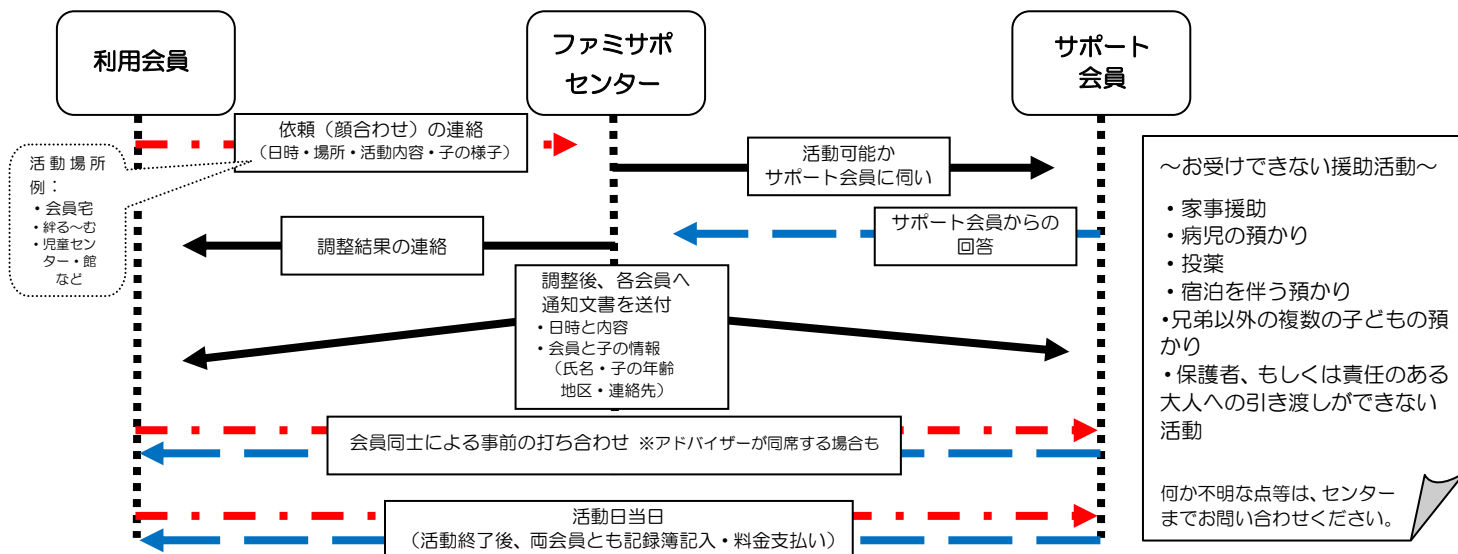
- ・園児の預かりと送迎
 - ・第2子出産時の第1子の預かり
 - ・習い事への送迎
- などがありました。

車による送迎については、サポート会員のご厚意とご協力でき成り立っています。天候・道路事情によっては、お子さんや会員の安全を鑑み、サポート活動を中止する場合があります。送迎をお願いする利用会員は、子育てタクシー（岐阜交通東部株式会社 058-268-2100）の登録（登録無料）もお願いします。

～感染防止対策～ 令和4年8月1日現在
現在、活動をしていただくにあたり、新型コロナウイルス感染防止対策として、

- ・本人または同居の家族が感染もしくは濃厚接触者に該当した場合は、活動に入らない
- ・ファミサポ活動前チェック表を用いた体調確認
- ・マスク着用（着用が困難でない方）
- ・車内や部屋の換気等の感染防止対策をお願いしています。

依頼から活動までの流れ



可児市ファミリー・サポート・センターHP(ホームページ) 紹介

可児市ファミリー・サポート・センターはホームページを活用しています。新型コロナウイルス感染防止対策や講座・交流情報などの最新情報を掲載しています。

主な項目

- ・新型コロナウイルス感染症対策・ファミサポ活動前チェック表
- ・利用方法、サポート方法
- ・利用料金
- ・ご利用にあたって
- ・講習会・交流会 など URL : <https://www.city.kani.lg.jp/2738.htm>

ホームページはこちら



会員登録数

利用会員 . . . 711人

サポート会員 . . . 88人

両方会員 . . . 1人

合計 . . . 800人

（依頼も援助活動もする会員）

令和4年3月末現在

裏面もご覧ください

★募集中★

送迎可能なサポート会員が時間帯によっては不足しており、ただいま募集しています。興味のある会員はぜひセンターまでご一報ください。

子育て応援講座について

子育て世代のお手伝いをしてくださっているサポーターさん向け講座、子育て応援講座を6月末に開催しました。全7講座を受講したサポーターさんはのべ85名。こんな状況だからこそ何かできないか、サポーター同士横のつながりが欲しい、学びたいと皆さんの想いを感じることでできる講座でした。“学び”を会員の皆さんに一部共有したいと思います。

1.最近の子育て・孫育て（講師：岐阜医療科学大学 助産学専攻科 唐沢 泉 氏）…

子どもを取り巻く現状と課題を日本の統計から知り、祖父母の時代との比較から子育ての現状と課題を理解し、孫育ての現状を調査結果から考え、子育て・孫育てで大切なことを一緒に学びました。子育てでは「子どもと同一目線で話す」・「親がほめ育てる」・「スマホ 時間を決める」・「60秒以上説教しない」に気を付け、孫育てでは、親子（両親と祖父母）双方が程よい距離感を保ちながらつきあう方法を見つけると良好な関係を保てるということでした。

2.地域の中で何かできる？子育て支援で関わること（講師：NPO法人キッズスクエア瑞穂 理事長 梶浦 良子 氏）

キッズスクエア瑞穂さんが実施している事業、子育て支援では、ファミリー・サポート・センター事業・みつばち基金・未就園児親子の広場・子育て講演会・発達障がいや学ぶ講座・保護者支援・親子体験活動・集団託児キッズルーム・養育支援訪問事業・小規模保育所・フードバンク等支援事業、次世代育成では、中学生保育体験などを、体験談を交えて実施事業についてお話しいただきました。サポーターとして「できる範囲でできること」をそれぞれの受講者が考えさせられる内容でした。

3.幼児安全法（講師：日本赤十字社岐阜県支部）…

乳幼児の一時救命処置（主に心肺蘇生とAED）を座学・2人で1体の人形を使用して（実技）学びました。

4.事故防止講習（講師：可児市ファミリー・サポート・センター）

全国ファミリー・サポート・センター事業内で起きている事故の特徴を知り、実際の活動で何に注意する必要があるのかをヒヤリハットを用いてそれぞれが考えました。

5.こどもの発達・成長と世話（講師：市保健師）

こどもの発達発達（身長・体重・歯・口の構造・生活リズム・視覚・認識・ことば・からだの動き・手指の動き・排尿・尿量・尿感覚・排便）の流れを理解し、世話や事故防止について学びました。

6.こどもの栄養（乳幼児期）と食育（講師：市栄養士）

離乳食・幼児食・生活リズム・朝ごはん・おやつ・食育について学びました。離乳食の食べさせ方として、スプーンを下唇の上にちょこんと置き、口が開いて取り込むのを待つ→上唇で挟んで取り込むのを待ってからスプーンをゆっくり水平に引く→ゴックンを待ってから次のひとさじ。こぼしたら優しくスプーンですくう。がよいそうです。

7.きいて、みて、知ろう！絵本の読み聞かせ（講師：市図書館司書）

絵本の選び方や意義、読み聞かせのしかたを学びました。ゆっくり丁寧によむ・演技ではなく、自然に、素直に読む・聴きやすい声を出す・見えやすいように絵本を持つ・絵本を見せながら物語を語れるように全体の流れをとらえる・シンプルな服装・記録をとることが読み聞かせの“こつ”ということでした。

直近の学びの場として、9月12日（月）10:00～「こどもと女性の防災講座」を、11月14日（月）9:30～「幼児安全法」をマーンで開催予定です。開催日一カ月前から申し込みを受け付けていますので、受講希望者はセンターまでご連絡ください。託児はありませんが、お子さん連れでの受講も可能です。希望される方は、センターまでご連絡ください。

＝各会員へ＝

- 住所、電話番号、家族構成などが登録内容から変更になった場合は、センターへご連絡ください。
- 会員同士の連絡手段として通知文書には、電話番号を記載しています。やむを得ず、他の連絡手段（メールなど）を活用する場合は、連絡する時間帯・頻度を考えた上、お互いの生活に支障がない範囲での利用をお願いします。

＝利用会員へ＝

- 登録している末子のお子さんが15歳までは利用会員として自動更新されます。該当のお子さんが16歳になった時に、自動的に退会となりますので、予めご了承ください。
- はじめてのご依頼の際は、調整に時間がかかる場合があります。早めにセンターへご相談ください。
- 無断キャンセルや、すでにサポート会員が預かり場所に出向かれた場合は、利用料金をお支払いいただきます。キャンセルの場合は、出来るかぎり早くサポート会員とセンターに連絡をお願いします。

＝サポート会員へ＝

- 救命講習・事故防止講習は、必須講習となっています。お時間のある時に受講をお願いします。
- 仕事を始めた、生活リズムが変わったなどで活動可能な曜日・時間が変更になった場合は、センターにご連絡ください。



《可児市ファミリー・サポート・センター》

子育て健康プラザ 子育て支援課 Tel 62-1111 内線 5543

E-mail: kani-famisapo@city.kani.lg.jp

受付時間：8:30～17:15（土・日・祝・年末年始は休み）

可児市子育て健康プラザ マーンは、令和4年3月地番変更により、住所が〒509-0209 可児市下恵土一丁目100番地に変わりました。